



和水町の未来を考える

子ども議会だより

もくじ

一般質問

菊水中学校 …… 02

三加和中学校 …… 05

代表者の感想 …… 08

菊水中学校

三加和中学校

町長あいさつ

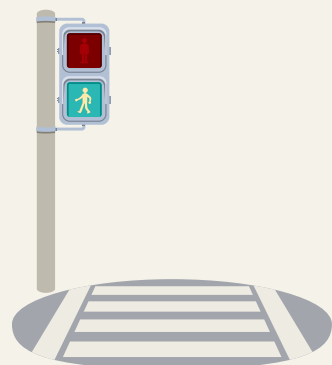
議長あいさつ

2024年
2月5日(月)
開催

信号機設置と道路計画の見直しは

Q 石原 交通渋滞を緩和するために道路計画の見直しがありますか。

A 町長 道路交通法に基づき、交通事故発生状況など総合的に判断し熊本県が予算の範囲内で施工しています。現在、町内には11機設置されています。町としても、引き続き、信号機が必要な場所、要望があった場所について、関係機関と連携し交通安全対策を強化していきます。



要望
警察などと連携して通学路点検や道路整備に取組まれていることを知ることができて安心しました。引き続き、交通渋滞の解消や交通事故防止、安心安全な環境整備をお願いします。

が発生している江田四つ角交差点については、通勤通学時間帯の渋滞を解消する目的として、現在、改良事業を熊本県が実施しています。また、菰田橋の架け替え工事も進められており、完成後は渋滞緩和が実現されると認識しています。



菊水中
いしはら 佳維斗 議員

独居老人との交流が少ないのでは？

Q 辻本 困っている独居

A 町長 ひとり暮らしふれあい招待会を校区ごとに年に2回開催しています。また、児童生徒との交流については、ワークキャンプなどを行っています。

Q 辻本 独居老人の方と関わることはできるイベントを開催するのはどうですか。

A 町長 ひとり暮らしの高齢者の方への交流や見守りとして、民生委員による定期的なお宅訪問があり、体調の変化など声掛けし見守りを行っています。

Q 辻本 独居老人の方との交流はどのように行われていますか。



菊水中
つじもと あいる 議員

Q 辻本 交流されたくない方がいるかもしれないですが、交流する場合の留意点がありますか。

A 町長 1年に1回、民生委員によってひとり暮らし高齢者の方の状況調査が行われています。

要望
中学校では、一部の人間が幸せになるのではなく、みんなが幸せになる福祉の考えを学んでいます。今後、福祉のまちづくりについて自分たちに何が出来るかを考え、相談していきたいです。

A 町長 高齢者の方は、児童生徒との交流を嬉しく感じておられます。また、不安や心配で交流を遠慮される方もいらっしゃいます。社会福祉協議会や福祉課に相談していただきたいです。また、顔見知りの高齢者の方に挨拶することだけでも、安心で嬉しいことです。

菊水インターを利用して企業誘致や住宅地増加を！

Q 豆塚 企業誘致などに伴い、住宅地を増やし和

A 町長 菊水インターから北西3kmの町有地には、今年度菊水インターの利便性をいかした物流施設の設置と企業誘致の用地として、利活用して頂ける候補者を選定し有効活用を図っています。また、TSMCの進出を機に、菊水インターの利便性、土地の価格の有効性を踏まえ、町としても企業誘致活動に力を入れていくところです。



要望
いろいろな政策を聞くことができておもしろいと思います。和永町にも多くの人が住んでもらえるよう、他の町に負けないような取り組みを考えてください。私たちが、将来ずっと住んでいけるような和永町であるように私も自分でできることを考えていきます。

A 町長 町では、定住人口の増加を目的にグリーンビレッジ平野や藤田さくらタウンなどの住宅地造成事業を進めてきました。令和4年度から民間事業者による住宅用地分譲事業に対して支援を行っています。また、和永町を選んでもらうために、新築住宅みらい支援補助金やわくわく子育て応援金による出生祝金の拡充など進めています。今後、住民ニーズを的確に把握し、より一層の移住定住促進策を進めていきます。



菊水中
まめ つか 凛 議員

和永町体育館に空調設備を！

A 町長 施設の管理人が毎日、施設の確認を行い不備があればすぐに対応し、利用者の安心・安全な利用に努めています。また、町の公共施設については、建築から三十年以上経過しており老朽化した建物も複数

Q 松石 和永町体育館の利用者の安心・安全について取り組んでいることや考えはありますか。

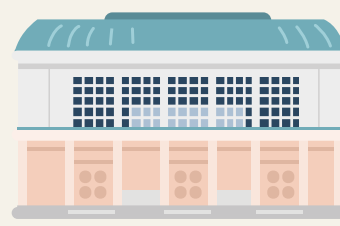
A 町長 和永町体育館は町避難所としても活用しています。利用者の皆さんが安心・安全にご利用いただけるよう来年度に空調設備の整備や駐車場の舗装工事を計画しています。

Q 松石 和永町体育館に空調設備をお願いします。



菊水中
まついし みほ 議員

要望
皆さんが利用される施設なので、より大切に使用しなければならぬと思います。空調設備については、事故が起こってからでは遅いので早急な整備をお願いいたします。私たちも、熱中症対策や災害が起こった時に、避難所で何が出来るかを考えて行動していきたいと思っています。



清流を取り戻すための計画は

要望
私たちが知らないところでさまざまな活動が行われて

要望
また、河川の水質について年に2回調査して、どの河川も問題なく魚などの生物の生息に影響するような状況ではありません。



Q 吉永 十町川や和仁川の魚や魚が昔に比べて少なく、生活排水等で年々濁り汚れている気がするが、清流を取り戻すための計画はありますか。



三加和中
よしなが じゅり な
吉永珠莉奈 議員

A 町長 和水町まちづくり総合計画の主要施策として河川環境保全の推進に取り組んでいます。生活排水の改善を促すため廃油の再利用活動に努め、緑と清流を活かした生活環境づくりを全町的にを行っています。また、河川の水質について年に2回調査して、どの河川も問題なく魚などの生物の生息に影響するような状況ではありません。

タブレットの有効活用とキャリア教育の充実を



菊水中
きむら こうしん
木村 弘新 議員

Q 木村 菊水中学校では、3年前からタブレットを活用した授業が実施されています。タブレットは家庭学習でも利用でき、病気で欠席した場合にはZOOMによる授業参加もできます。家庭にWi-Fi環境がないところへの家庭でも利用できるよう貸し出しをするのはいかがですか。

A 町長 まずは、ネットワークに繋がっていないでも活用できるものから取り組んでいくところです。現在、家庭でのインターネット環境の状況調査を行っており、今後は近隣市町の事例も参考にしながら、Wi-Fi環境のない家庭に向けた対応の検討を進めています。

要望
タブレットなどとてもいい学習用具を整備してもらいました。これを有効活用できるように学習環境に格差が出ないよう検討をお願いします。また、キャリア教育の目標である四つの能力を常に意識していきたいと思っています。

A 教育長 人間関係性・社会形成能力を始め、自己理解、自己管理能力や課題対応能力、キャリアプランニング能力の四つのフィルタを通して振り返ってみると、意外なほどキャリア教育に取り組んでおり、ジュニアボランティアガイドや起業体験活動などがあります。

Q 木村 キャリア教育の充実を希望しているが、案があれば教えていただきたいです。

A 町長 社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するために、学校の教育活動全体を通して行われるものがキャリア教育だと認識しています。

町外からのお客さんも増えるための飲食店の誘致を

要望
町としては飲食店に限らず町の活性化につながる産業

要望
また、商工会では事業を始めた人に対して、アドバイスや手伝いなど寄り添った支援を行っています。町は商工会に対して支援を行っています。



Q 平 町外からのお客さん呼び込めるような魅力ある飲食店の誘致や開店の支援取り組みはありますか。



三加和中
たいら まさと
平 真斗 議員

A 町長 飲食店に限らず、町の活性化に繋がる産業や企業誘致を進めています。町に人が集まる、人が移住・定住するまちづくりを進め、魅力ある飲食店が和水町に开店いただくよう進めていきます。

要望
や企業の誘致を進めているとの回答をいただき、私たちが知らないところでさまざまな施策が進んでいるのだと再認識しました。和水町をふるさととする一員として、和水町への愛着と町を活性化させたいという思いを忘れずに少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

菊水中学校の生徒と町長・議員



三加和地区での観光スポット開発を

Q 持丸 三加和地区を活性化させるためには、町外から人が集まるのが大事だと思いますが、三加和地区での観光スポットの開発についてどうお考えですか。

A 町長 現在、本町を訪れる観光客は減少しており、歯止めをかけるにも観光スポットの開発は重要と考えています。三加和地区には、金栗四三翁の生家や三加和温泉、国指定史跡の田中城など様々な観光資源を有しています。今ある観光資源を更に魅力ある施設になるように協議、検討し、観光客誘致に努めていきたいです。また、金栗生家の観覧や手漕ぎ和紙体験を楽しんでいただくバスツアーを実施して、町外からの観光客誘致に努めます。



三加和中
もちまる しょうだい
持丸 松大 議員



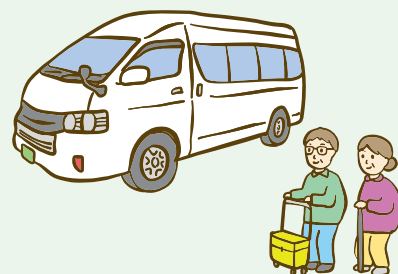
要望 私は三加和地区にもたくさん観光客が来て、その中からここに住んでみたいと思うってもらえる方がいたらうれしいです。私は和水町の一町民としてもこの町を知り、様々なボランティアにも積極的に参加して和水町を盛り上げようと思います。

ています。

乗合タクシー「あいのり君」の今後への対策は

Q 水嶋 公共交通機関が少ないため、スクールバスのある私立高校を選んでしまい選択肢が少なくなっています。町として時間帯を限定して乗合タクシーを走らせるなどの具体的な対策はありますか。

A 町長 路線バスの利用者は、年々、減少傾向にあり路線廃止を余儀なくされています。高校生への通学補助金も認識しており路線バスの利用拡大と併せて通学補助金の検討を行っています。



要望 拡大は困難と考えます。路線バスを維持することにより多額の補助金が出ていることを聞いて大変さが理解できました。もう少し乗合タクシー「あいのり君」を知ってもらって利用者を増やした方がよいと思います。これからも町の課題や問題などしっかりと目を向けていける人になりたいです。



三加和中
みずしま ゆり
水嶋 結梨 議員

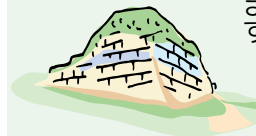
三加和中学校の生徒と町長・議員



東山公園や田中城跡などの施設の活用を

Q 鍋島 小中高生が仲間づくりをする施設が和水町にもできれば、町外からの利用者も増えると考えます。東山公園や田中城跡など人が訪れない施設をうまく活用する計画はありますか。

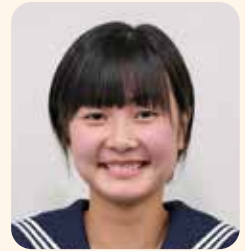
A 町長 東山公園は周辺が農地であること、田中城跡については国指定文化財として登録されていることから開発しにくいことが課題となっています。町ではふれあいの森という山林を保有しており、ふれあいの森を活用し、キャンプ等のアウトドア施設整備を行い地域活性化の起爆剤にできるようにしたいです。また、近くには三加和温泉郷や緑彩館もあり町内外からの利用者も増え、地域活性化に



要望 三加和温泉やふれあいの森を再開発されて温泉には入れるアウトドア施設が整備出来たら、町外から多くの人が来られるのではないかとワクワクします。今回、議会に参加して、町のことを考える機会を与えて頂きとてもありがたいと思います。この経験をたくさんの方に伝えて、みんな「笑顔輝き 魅力あふれる和水町」を作っていけたらと思います。



三加和中
なべしま つかさ
鍋島 司 議員



菊水 中
豆塚 凜 議員

私は、和水町の人口減少の課題について菊水インターなどの交通の便の良さを利用して新たな産業や企業を誘致し人口増加につなげることを提案しました。また、そのような課題に対してどのように考えていらいっしやるかを質問しました。これに対して町長さんは「私も同様な考えである」とおっしゃっていました。具体的に内田区にある約十五haの町有地を物流施設の設置と企業誘致の用地として利活用いただける候補者を選定し有効活用を図っていると教えていただきました。また、宅地開発も行われているそうです。和水町は私にとって、とても大切な場所です。それは和水町の誰もが思っていることだと思います。だから、私は豊かな自然を守りながらも今以上に住みやすい魅力のある町になってほしいと願っています。今回の子ども議会を通して、町長さんたちは日々和水町を良くするために考えていらっしゃることを知りました。

私達のような若い人たちの意見も聞き入れてくださり、とてもいい取り組みだと思えます。続けてほしいです。



三加和中
吉永珠莉奈 議員

私は、子ども議会で貴重な体験をすることができました。私は河川についての質問をして、清流を取り戻すための計画として「水援隊」の活動や「和水町の河川を美しくする条例」などがあること、鯉や魚などの生物の生息には影響しないということがわかりとても安心しました。

「子ども議会」に向けて前もってさまざまな準備を進めていると、あらためて和水町のさまざまなことについて振り返る機会になって良かったと思っています。また、初めて「議員」という立場に立ち、とてもはきはきと質問を言っている菊水中学校の生徒の人たちを見て、とても緊張しました。しかし、議会が終わると前もって質問を考えていて良かったという達成感を強く感じました。



今回経験したことを学校生活に活かしてより良い学校づくりに努めていきたいと思っています。



和水町
石原 佳幸 町長

和水町の更なる発展のために

二月五日、町議会の模擬体験を通して、議会制民主主義への理解を深めること、また、町政に対する関心を高め、ふるさと「和水」を誇りに思う心を育むことを目的に、初めての子ども議会を開催しました。

一般質問では、人口減少問題や林野の活用、観光資源など、中学生ならではの鋭い視点での質問や提案に、皆さんの和水町への関心の高さや、郷土愛を感じることができ、大変心強く感じました。

提案いただいた内容を真摯に受け止めて、和水町の更なる発展のために、今後の町政運営に活かして参りたいと思います。

一般質問をされた十名の方々、傍聴席にて傍聴された菊水中、三加和中の二年生の方々は、普段は味わうことのできない貴重な体験だったと思います。この経験は素晴らしい財産となります。子ども議会に向けて取り組んだことなどを今後の学生生活に活かしてもらいたいと思います。そして、大人になっても、和水町を愛する気持ちを持ち続けていただきたいと思います。



和水町議会
高木洋一郎 議長

初の子ども議会を進行して、感じたこと

中学生の諸君が子ども議会に至るまでに、自らの体験や事前学習・調査などを通して、和水町の課題を見出し、あるいは将来像を描いて、現職議員も顔負けの一般質問をしてくれたことに感心し、感動を覚えました。

一般質問からは、和水町を愛する気持ちや町の将来のことをしっかりと考えていることが、良く伝わり、頼もしく感じました。

議会議場という普段立ち入ることのない空間で、相当の緊張があったと思いますが、堂々と自分の意見や考えを話してくれました。この経験を学校の活動や日々の生活の中で、活かして欲しいと思います。

皆さんの意見や提案を町執行部も町議会も、しっかりと受け止めて、これからのまちづくりに活かして行きたいと思っています。

皆さんには、将来の和水町を担い、活躍して頂くことを願っています。